



<p>○ ご指摘の通りであるが、今回はあくまで仮定を示すうえでの条件設定としている。全国的に見ると都心部などでは社会減よりも自然減対策を講じたほうが効果的な自治体もあるが、その点について、唐津ではどういう状況なのかというのを、国が示している人口ビジョンに準じた条件設定で影響度分析を行った。あくまで傾向として捉えていただくことを前提に、人口減少カーブを緩やかにするためにどちらも大切なことであるが、自然減と社会減という二つの考え方に着眼した。シミュレーション結果として、本市の人口減少対策は、人口の社会減を抑える取組をより一層推進することが有効であると推察している。また、合計特殊出生率は全国平均よりも高い水準にあるので、このまま維持していきたいという考えである。このように、あくまで一定の条件下における推計としてご理解をいただきたい。</p>	事務局
<p><b>(2) 前期基本計画素案（たたき台）について</b>  事務局より議事内容を説明  (説明資料)  資料3：第3次唐津市総合計画 前期基本計画素案（たたき台）  資料4：前期基本計画の構成</p>	
<p>○ 前期基本計画素案の全体的な印象としては、私たちが気付かないところまでフォローされていると思った。しかし、一つ意見を述べたいのが基本施策 1-1「市民生活を守る消防・救急体制の強化」である。本市の直面している課題として、玄海原子力発電所の対応は市民の安全安心を考えるうえでは避けて通れないと思う。原子力発電所の安全性や災害時の対応などあると思うが、今後の取組として掲げることは特段ないのか。</p>	委員
<p>○ 原子力防災に関しては、基本施策 1-2「防災体制の整備と地域防災力の強化」でカバーしている。個別計画の欄に記載している唐津市原子力災害対応避難（行動）計画などで具体的な取組を示すことになる。</p>	事務局
<p>○ 新しい総合計画を手にする方の中には、原子力防災に関する事項が本文中にないことに違和感を持つ方がいるかもしれない。審議会委員としては個別計画で示すということで理解できるが、何か一文でも本文中にその内容が現れてもよいのではないか。</p>	委員
<p>○ 原子力災害以外にも様々な災害がある。大きな括りとして原子力災害に関することも、単位施策「避難行動要支援者対策の強化」や「防災情報伝達手段の多重化」で網羅しているところであるが、本文中に表すことができるかについては、所管課と協議のうえ検討したい。</p>	事務局
<p>○ 市民の安全安心に関わるものとしては、台湾問題などもあると思う。</p>	会長
<p>○ 地域経済に関する施策は基本目標 2 の中で掲げられていると思うが、企業誘致の取組として具体的にどのようなことを考えているか。若い人に定住してもらうには、働く場の創出が第一であると思うがいかに考えるか。</p>	委員
<p>○ 基本施策 2-3「新しいにぎわいを生み出す産業の立地促進」において、企業誘致の取組を掲げている。具体的内容は精査を続けているが、基本的にはこの基本施策でカバーしている。</p>	事務局

<p>○ 働く場の創出として、それ以外のところでは基本施策 2-2「地域経済を活性化させる商工業振興と持続的な成長・創業支援」の単位施策「創業者の創出及びフォローアップ」などが関わってくるが、創業支援というところもしっかりと考えなければならないと思っている。働く場の創出は市民生活の基盤となるものであり、これらの中でしっかりと取り組んでいきたい。</p>	事務局
<p>○ さらに具体的に考えている取組などがあれば説明してほしい。</p>	委員
<p>○ 総合計画の考え方として、単位施策よりも下に結びつく具体的な事業などについては、個別計画で議論していくことになる。総合計画の役割としては、単位施策としての主な取組を示すところまでと考えている。</p>	事務局
<p>○ 若い人の定住が増えるには、働く場が必要というのは同感である。商工会議所関係のデータで見たことがあるが、全国的に地方では就職や進学のために18歳で転出する人が非常に多い。そして、学校を卒業した頃に少しの人が地方に戻るが、男性よりも女性の戻りが少なく、唐津も同じような状況となっている。結婚してそのまま婚家に入る影響もあると思うが、考え方を考えていかなければならない最大の部分は地方企業が女性の雇用に対して消極的なところがあるのではないかと考えている。首都圏の企業は、女性が職場に求めるニーズをしっかりと把握し、女性の雇用を増やしていつている。働く場を増やしていくというのは、新しい会社を増やすことだけでなく、女性雇用にもっと力を入れていくことで、若年層が唐津に戻るより強い基盤ができるものと考えている。</p>	会長
<p>○ 基本構想素案の話に戻るが、人口推計シミュレーションの結果として示したことが、前期基本計画にどのような形で表れているのか。</p>	委員
<p>○ 今回シミュレーションをお示しする以前から、唐津における一つの大きな課題として、若年層の転出というところが大きくデータで表れていることを捉えていたため、このことを前提に総合計画の取組を検討してきたところである。人口推計シミュレーションを新たに追加した理由としては、前回までの審議会において本市の人口減少の状況を市民に分かりやすく伝えることができればというご意見があったことから、国が人口ビジョンで示している仮定のもと、本市のシミュレーションをお示したところである。そのため、今回新たに人口推計シミュレーションが追加されたとしても、その前提となる大きな考え方に変わりはない。</p>	事務局
<p>○ せっかくシミュレーションで社会減を抑える取組の方が、より一層効果があることを示すのであれば、今までになかった取組を第3次総合計画で掲げることができないか。人口の社会減を抑えるというのは難しい課題であるが、これまでに検討してきたことが活かされて、新たな取組が展開されると嬉しく思う。基本構想でシミュレーションしたことを市民に対して見える化し、新たな一手が打てればと思う。</p>	委員
<p>○ 人口減少対策の中で、社会減への対応ということになってくると、例えば移住・交流の取組、企業誘致、創業支援、そして関係人口を増やしていくという意味での観光振興などの施策があるので、こうした施策などで表現の仕方を工夫したいと思う。</p>	事務局

<p>○ そうであれば、先ほど話にあがった唐津の若者を増やすという取組についても、もう少し具体的に表現できないかと思う。</p>	<p>会長</p>
<p>○ 第3章「それぞれの特色を活かす地域別計画」は、内容を見ると唐津市だけで完結しているが、人口減少を緩やかにし、継続して税収を確保していくためには、定住人口を増やすのが効果的ではないか。そういう観点でいうと、外郭市との関連性があればよいと思う。外部力を利用した発展という考え方になるが、総合計画の本文中に記載できるかどうかに関わらず、今後踏まえてほしい考え方である。</p>	<p>委員</p>
<p>○ 大きくは基本構想で掲げた、めざすまちの姿にある「住みたい 訪れたい」の部分につながる話だと思うが、そうした考え方は定住化の一つのステップとして捉えているところである。具体的な取組は総合戦略で検討していくことになると思うが、所管課と協議のうえ検討していきたい。</p>	<p>事務局</p>
<p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;">以下余白</p>	